



発行日：2011年4月20日
 発行者：NPO 法人箕面こどもの森学園
 562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
 tel&fax 072-735-7676
 e-mail kodomomori@nifty.com
 URL <http://kodomonomori.com/>

入学と進級を祝う会を行いました

4月8日、入学と進級を祝う会が行われました。新年度は、新1年生ひとり、新3年生ふたりを迎え、15人の生徒でスタートします。

入学式では、藤田校長から「みんながいろいろなことにチャレンジする気持ちをもって、箕面こどもの森に集う一本一本の木であってほしい」という挨拶がありました。その後、在校生代表が新入生にお祝いのコサージュを渡し、在校生とスタッフが、この1年間の抱負を発表し合いました。

記念撮影の後、在学生から新入生へ歌のプレゼントがあり、子どもたちのやわらかい声がホールに響きわたりました。その後、新入生の好きなものを当てるゲームなどで盛り上がりました。和気あいあいとした、ゆったりとした時間が流れたこどもの森らしい入学式でした。(北出)



コサージュのプレゼント

学校の森づくり ”3学期にやったこと”

新校舎に移転した一昨年春には、まだまだ足りないものばかり。そんな森(学校)にもっと木(物)を増やそうと選択の「学校の森づくり」が始まりました。

低学年と高学年の子が協同して物の制作や修理をする活動ですが、今回はA、B2グループに分かれてやりました。

Aグループでは、3学期は「掲示板づくり」と「花壇づくり」をしました。「掲示板づくり」は、縦60cm、横120cmに切ったベニヤ板の裏面に補強の角材を打ち付け、表面にコルク板を接着剤で張り付きました。その上にペンキで「箕面こどもの森学園」という大きな文字を書きましたが、筆できれいな文字を書くのが結構難しかったです。

「花壇づくり」は、校庭に今ある花壇を抜げて、もっとたくさんの花が植えられるようにしようというものです。まず、花壇の土に堆肥を混ぜ込む作業をしました。それから煉瓦を並べて花壇のフチを作り、最後に板材で花壇の周りの柵を作りました。

Bグループでは、この学校に来られる人たちへ「ようこそこどもの森へ!」と歓迎の気持ちを込めて、ウエルカムボードを作りました。このボードには、学園の子どもたちを描いた布の貼り絵で、作った人にどこか似たものが描かれています。協同してやるものづくりは協力や分担が加わるので、完成時の満足感も個別制作のときとは一味違うようです。(平嶋)



ウエルカムボード

楽しかった修学旅行

高学年(4~6年)の子どもたち7人と修学旅行に行ってきました。この学園の修学旅行は、行き先を6年生が提案し、内容を参加する子どもたちが決めます。費用も計算して、必要なお金の一部をフリーマーケットなどで集めます。担当した見学場所への行き方を調べたり、宿泊先に電話で予約したり、旅行のお金の管理をするのも、子どもたちです。

今年の行き先は姫路でした。1日目は、姫路城と姫路科学館に。天守閣は工事中でしたが、お菊井戸や西の丸などを興味深げに見学していました。姫路科学館には、いろいろな体験設備があり、科学や力学の不思議を体験できました。プラネタリウムにも入り、星について学ぶことができました。宿泊した星の子館では、他には利用客がいなくて伸び伸び過ごすことができました。そこでも星や月についてのお話を聞いて、望遠鏡を見せてもらいました。

2日目は、姫路セントラルパークに行きま

した。いろいろな動物を見たり、スケートをしたりしました。熊やキリンには、えさをあげることができました。スケートでは、上手に滑れる人が、初めての人や、苦手な人に滑り方を教えてあげながら、楽しそうに滑っていました。バスと電車を乗りついで、無事に帰ってきました。仲間といっしょにいろいろな経験をして、子どもたちが一回り大きくなったように感じた2日間でした。(藤田)

卒業式を行いました

3月24日に卒業式を行いました。今年の卒業生は1人ですが、この学校に1年生のときから来ている子です。やんちゃで、やさしくて、ずるくて、明るくて、すてきな男の子でした。その彼が泣いていました。彼は1年生の時から、自宅から電車を乗り継いで約2時間かけて通学し、遠くてもこの学校に通えるということをもって示してくれました。

卒業生からの一言では、「みんなにいろいろ迷惑をかけたけど、この学校に通えて楽しかった」と話してくれました。1年生の頃はまだあどけなかった彼が、今こんなに大きくなり、ここから巣立っていく姿を見て、とてもうれしく、またさみしい気持ちになりました。

卒業式に引き続いて、卒業を祝う会が開かれました。在校生やスタッフから、リコーダーや歌、音楽の演奏をお祝いとして贈りました。それから、「どっかん」というゲームをみんなでしました。このゲームは彼が教えてくれた遊びの中でみんながいちばん好きだったゲームです。その後、校庭の小屋の下にタイムカプセルを埋めました。10年後に集まって開ける約束をして、卒業を祝う会は終わりました。10年後、きっとまたこのメンバーでここで会いましょう!(守安)



《自由作文紹介》

みみのおしっこ なつ

うさぎのみみが、お父ちゃんのおしごとのふくに、おしっこをひっかけた。

お父ちゃんがおこって、みみをだっこして「ポイン」となげた。

みみがびっくりして、はるくんのきちにげた。(はるくんのきちはくらくて、あなみたいになってるから、みみはすきです。)

お父ちゃんが、かいしゃにちこくした。

ぼくの犬 だいき

ぼくの犬の名前は、「てん」。

三びきいる中の一びき。のこりの二ひきの名前は、「ケイト」、「ロビン」。てんはトイプードルで、ケイトとロビンは、ミックスだ。

ぼくが、ピアノのれんしゅうをしているとき、てんは、お母さんがなんにも言わないでも、ねてるばしょにねてて、ぼくは、「かしこいな」と思った。

熱がでた こゆき

妹のかぜがうつって、月曜日から熱が出た。それで、家にいたから、つまんなかった。

夜、ねているときに、わかばにお腹を2回ぐらい足でのられたり、けられたりされて、痛かった。

火曜日は、学校のフリーマーケットだったけど、行けなくて残念だった。

お昼ごろから、だいふましになって、熱もさがって、よかった。

家のネコのこと さき

私は、ネコを4匹かっています。そのネコの名前は、キャラ、マーブル、ルビー、ココアです。

キャラは、なぜかいるんなところ(とくに顔)に、けがをしています。そのせいか、目つきがわるいです。

マーブルは、目が丸く毛はふさふさでかわいいのに、友達(お兄ちゃんの…私の友達もいるけど)にきらわれています。(キャラならわかるけど…)。

ルビーは、家のネコで、ゆいいつのめすネコです。家のネコで一番かいます。そして、ほかのネコによくおいかけています。そ

ふしぎなきのこ そら

このまえのあさ、きたせんりこうえんをあるいていると、へんなあかいきのこがはえていた。

ぼくは、そんなきのこをはじめてみたので、びっくりした。

くきは、はだいろのくきで、ほそくて、上は赤くて白いつつつぶのもようになっていた。足でふんだら、ポーンとわれた。

「くきがぬけるかなあ」とおもってぬいたら、パーンってわれた。

学校のかえりに、もう一どとおってみたら、そのきのこはなくなって、ちがうちやいろいきのこがおなじかずぐらいはえていた。

つぎのあさ、おなじところをとおてみたら、土の上にいしがいっぱいおちていて、ざっそうがはえていた。

未来のこと あきひさ

昨日、ぼくが歴史の勉強をしているときに思ったことです。

今、中東でデモが起きていたり、日本で総理大臣がくるくる変わっていたりするけど、「そのことが、未来の世界史や、日本史も出てくるんだらうな～」と思いました。そう思うと、未来の人たちが、「総理大臣がくるくる変わるから、名前を覚えたりしないといけない。なんでわざわざ総理大臣がくるくる変わったんだ！」って言うてる姿が目には浮かびました。

なんで、未来の人が文句を言っていた姿が目には浮かんだのかということ、お姉ちゃんが、歴史の勉強をしているとき文句を言っていたからです。

《プロジェクト紹介》

小屋の2階づくり しゅん

小屋の2階を作った理由は、1階にクベ・バーができてせまくなったから。それに前から2階を作りたかったから。

さいしょに2階のゆかのはりのぶぶんを作ってたがグラグラだったんで、こんなんで大いじょうぶかな～と思っていたけど、ゆか板をはったらけこうゆれなくなった。

それから、かべを作ってやねを作った。

それから、やねに水をとおさないシートをはった。

できたときは、ちょっとうれしかった。



2階の床のはりをかける



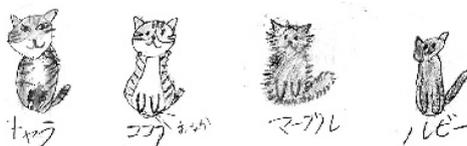
2階が完成した

《選択プログラム「音楽」》

音楽が一番大切なことは、音楽を楽しみながら自分を表現できるようになることだと考えています。

音楽の時間では、子どもたちは与えられた曲目ではなく、自分たちで話し合って決めた曲目を歌い、演奏しています。自分たちで決めた曲なので、子どもたちはとても積極的に、楽しんで練習します。

高学年ではリーダーを選出し、リーダーが中心となって授業を進めていきます。全員で話し合ったり協力して練習する中で、みんなでひとつの曲を演奏する一体感や、一人ひとりの表現が重なり合って生まれるハーモニーの美しさを感じてもらいたいと願っています。(守安)



NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 1月～3月

ロハス in こどもの森～春フェスタ

3月19日に春フェスタを開きました。暖かい一日で、約180名の参加者がありました。

最初に、1週間前に起こった東北関東大震災の犠牲者に対する黙祷をしました。受付で寄付金も集めました。(集まった寄付金は「被災地 NGO 協働センター <http://www.pure.ne.jp/~ngo/>) に送りました。)

今回のテーマは、「遊びとアート」。にとり公園では、古橋理絵さんの街頭紙芝居、はくさんまさたかさんの手作り楽器、矢野紙器株式会社の「ダンボールで自由に遊ぼう」、ユニット『ぐるぐる』の竹の箸づくり&「未来の絵巻をみんなで作ろう」などが催され、たくさんのおもちゃが集まっています。校庭ではパン焼きや木工教室など、多目的室では折紙教室と風力発電模型、きんかんの会と学園のこどもの作品販売など、たくさんの企画がありました。

終了後の交流会で、「震災の後だったので、食や遊びを通じて生きることの意味を感じられた。」「おもちゃがよく手伝ってくれて、頼もしかった。」などの意見がありました。

会員の岸本さんが、ご自身のブログ「よろしゅおあがり」にロハスの様子を素敵な写真で紹介しておられますので、是非ご覧下さい。(増田)



にとり公園で街頭紙芝居の上演

リアル熟議 in 箕面を開きました

「リアル熟議 in 箕面」が3月5日(土)午後、箕面こどもの森学園を会場に開催されました。こどもの森の関係者も多数参加している「多様な教育を推進するためのネットワーク(おるたねっと)」が主催で、箕面市教育委員会、大阪府教育委員会、文部科学省にも後援をいただきました。

箕面市内外の教員・元教員・フリースクール関係者・保護者・教育に関心のある学生・市議員など、まさに老若男女が50名あまり、

7つのグループに分かれて、「こどもがイキイキする学校・コミュニティとは?」というテーマで自由に意見を出し合いました。

最後に、グループ毎に出た意見を整理しながら発表をしていきましたが、「教師や保護者といった立場を越えたつながりを大切にしたい」、「学校が、地域のコミュニティやNPO団体などとの連携でこどもを見守りたい」、「学校づくりに市民が関わったら面白くなるのではないか」など、公立学校と、こどもの森のようなオルタナティブ・スクールの枠を越えるような、前向きな意見がたくさん出されました。

「様々な立場の人が意見を出し合う、このような熟議文化を大切にしたい」、「箕面の様々な課題をこのような形で熟議していきたい」、「今回出来たネットワークを今後も活かしていきたい」など、今後につながる熱い想いを共有することができました。(藤田)



小グループに分かれての熟議

森のようちえん 2011 始めます

幼児期に最も大切なこと、それは子どもが安心できる場所で、ゆったりと流れる時間の中で、心と身体を解き放つことではないでしょうか。4月から毎月第3土曜日に、箕面の豊かな自然の中で、親子でおもいっきり遊ぶ企画を開始します。

山歩きや川遊び、自然観察やバードウォッチング、草木染めや木工、そして千里北公園の自然体験交流センターでたき火なども楽しみたいと思っています。

3月に参加者を募集したところ、あっという間に希望者が定員を超えてしまい、関心の高さをひしひしと感じています。残念ながら今年度は参加者の追加募集はできませんが、一緒に遊んでくれるボランティアスタッフを募集していますので、興味のある方はぜひご連絡ください。連絡は090-4646-7531(増田)まで。

こどもの森市民太陽光発電所の運行状況 ~ 2009年3月から2011年2月まで ~

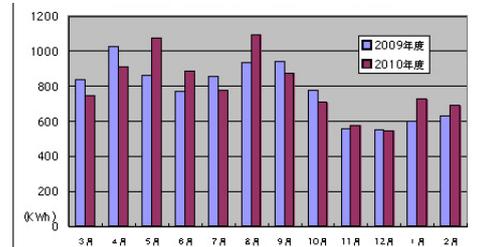
こどもの森市民発電所ができたのは、校舎を建設した2009年3月です。下のグラフは、2009年3月から2011年2月までの2年間の発電状況を示したものです。2009年のピークは4月でしたが、2010年は5月と8月がピークでした。発電量はどちらも1000 KWhを越えています。一般に、春と夏は発電量が多く、秋と冬は少なくなっています。

2010年度の最大月は8月で1093 KWh、最少月は12月で545 KWhでした。最少月は最大月の約半分の量になっています。

2010年度の総発電量は9588 KWhで、2176 KWh (23%) を自家消費し、7412 KWh (77%) を電力会社へ買い取ってもらいました。その金額は約35万円でした。

先日、東日本で大地震が起きましたが、地震によって電力供給が止まっても太陽光発電装置があれば電気が使えます。そのような場合は、システムを自己運転に切り替えて、自己運転コンセントから電気が得られるそうです。実際にどうやるのか、近々、その実験を子どもたちとやってみたいと思っています。(辻)

月別発電量 (2009年3月～2011年2月)



NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会費 6,000 円)
- ◆賛助会員になる (年会費 3,000 円)
- ◆資金・資材を寄付する
- ◆情報・労力を提供する

振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園

<郵便払込> 00980-7-232403

<郵便口座振込> 14020-68190721

<銀行振込>

ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072

池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676 kodomomori@nifty.com

雑感

2011.3.11のこと

3月11日以来、東北地方を中心とした大地震と大津波の被害に加えて原子力発電所の事故による放射性物質の拡散という状況が、新聞やテレビやインターネットで連日報道されています。4月に入ってからも死亡者の数は増え続け、安否不明者の数がなかなか減らないことが事態の深刻さを物語っています。

関西に住む私には16年前の1月17日に起こった阪神淡路大震災の記憶がよみがえります。不幸中の幸いで私の住むマンションは大きな被害はなかったのですが、当時勤務していた高校の校舎や通っていた生徒の自宅にはかなりの被害が出ました。運営委員をしている箕面東部自立センター ZERO の家の関係で、神戸周辺の障害者作業所などの状況を把握するため震災直後に現地を訪問しました。今までと変わらない日常生活を送っている私のすぐ隣で、被災者の困難な現実が

ありました。「自分には何ができるのだから」、「被災者のことを考えたら、遊んだり楽しんだりいけないうまいだろうか」という自問自答を繰り返していました。

しかし、1995年は「日本のボランティア元年」とも呼ばれるようになりました。私たちが3月に開いた「ロハス in こどもの森」で支援金を集めて送った「被災地NGO協働センター」も、阪神淡路大震災をきっかけに生まれました。これから、被災者に対する息の長い支援とともに、福島第1原子力発電所の事故による放射能汚染が日本のみならず海を越えて拡がっていくことにも目をそらすはならないでしょう。

太陽光発電や菜の花プロジェクトを実践している私たちの学園は、持続可能な未来に向けて何ができるのかを考え続けていくことが、「2011年3月11日」に課せられた重いテーマだと感じています。(増田俊道)

こんな学校に出会いたかった！！
♪ 箕面こどもの森学園 生徒募集 ♪

子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。

募集人数：10名程度
対象年齢：6～11歳（小学5年生まで）
場所：箕面市小野原西6丁目15-31
見学：随時（ご相談の上で日程を決めます）
体験入学：見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。
入学面接：ご相談の上で日程を決めます。
問合せ先：072-735-7676

※見学、入学ご希望の方はご連絡ください。



アクセス：阪急北千里駅から徒歩15分。

♪ サマープロジェクトがリニューアル ♪
～こどもの森・夏の学校 2011～

今年のサマープロジェクトは、この学校の授業を体験するという、今までのかたちとは一味ちがった内容のものになります。

日時：7月29日（金）、30日（土）
9:40～15:00

会場：箕面こどもの森学園
参加費：5000円（親子1組）、2人目からは3000円
対象：年長児～小学5年生までの子どもとその親
申込受付：6月末頃から 定員：25組
主催：NPO法人箕面こどもの森学園

各種イベントのお知らせ 4月～8月

こどもの森講座
「体感！箕面こどもの森学園」

子ども一人ひとりの学びが大切にされ、子どもがいきいきと育つ小学校。そんな箕面こどもの森学園の模擬授業を大人の方に体験していただける3回シリーズのプログラムをご用意しました。どうぞ、子どもの頃にもどった気分でご参加ください。

第1回「フレネ教育を感じよう！」
日時：6月2日（木）10時から12時
場所：箕面こどもの森学園森のサランルーム
講師：芳仲 猛
参加費：1000円（こどもの森会員800円）
定員：10名（3名以上で開講します）
申込方法：5月30日までに、電話またはFAXでお申込み下さい。
問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局
(TEL&FAX 072-735-7676)

箕面こどもの森学園の
無料体験入学ができます！

一斉授業とも詰込み授業とも違う、子どもの可能性を拓く新しい教育にふれる貴重な機会です。こどもの森の教育にご関心のある方は、ぜひご体験ください。

日時：6月27日（月）～7月1日（金）
8:40～15:00（水曜日は8:40～11:40）
※上記の日程からご都合のよい日を1日お選び下さい。
対象：年長児～小学5年生
参加費：無料（2日間以上ご希望の場合は、2000円/日の体験料が必要になります）
申込方法：申込書を体験希望日の1週間前までに、郵便またはFAXでお送り下さい。
問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局
(TEL&FAX 072-735-7676)



関西よつ葉連絡会

お届けするのは、作る人の想いと安心な食品です

(株)産地直送センター

〒562-0034 大阪府箕面市西宿2-15-6
フリーダイヤル 0120-30-4280
産直ショップ小野原店 072-729-7800



子どもたちに豊かな空間をー建築設計

株式会社 高砂建築事務所

大阪府茨木市中穂積2-6-22
TEL 072-623-0136
http://www.takasago.co.jp
info@takasago.co.jp